

謝 辞

ベンゼン合成および¹⁴C測定の基本については、筆者のひとりが、名古屋大学大気水圏科学研究所において、松本英二教授から長期にわたってご教示をいただき訓練させていただいたものである。ここに記して厚く御礼を申し上げる。

文 献

- Bard, E., Hamelin, B., Fairbanks, R.G. and Zindler, A. (1990) Calibration of the ¹⁴C timescale over the past 30,000 years using mass spectrometric U-Th ages from Barbados corals. *Nature*, **345**: 405-410.
- Bowman, S. (1990) Radiocarbon Dating. —Interpreting the past—. Britis Museum Publication Ltd, 64pp.
- Damon, P.E. (1970) Climate versus magnetic perturbation of the atmospheric ¹⁴C resevoir. *Proc. XII Nobel Symp.*, Wiley, pp. 571-593.
- 遠藤邦彦(1965)炭素による年代測定。—考古学・地質学上の年代を決める—ニューサイエンス社, 58p.
- Gupta, S.K. and Polach, H.A. (1985) Radiocarbon Dating Practices at ANU. *Radiocarbon Laboratory, Research School of Pacific Studies ANU, CANBERRA*, 173pp.
- 池田期次(1976)ベンゼン-液体シンチレーション法による微弱¹⁴Cの測定. *Isotope news*, **336**: 1, 6-7.
- 木越邦彦(1985)放射性炭素¹⁴Cによる年代測定. *地学雑誌*, **94**: 126-130.
- Kigoshi, K. and Hasegawa, H. (1966) Secular variations of atmospheric radiocarbon concentration and its dependence on geomagnetism. *J. Geophys. Res.*, **71**:

1065-1071.

- Mann, W. B. (1983) An international reference material for radiocarbon dating. *Radiocarbon*, **25**: 519-527.
- Nehmi, V. A. (1980) Isotopic fractionation of NBS oxalic ¹⁴C standard and its effect on calculated age of materials. *Radiocarbon*, **22**: 501-504.
- Noakes, J. E., Kim, S. M. and Stipp, J. J. (1965) Chemical and counting advances in liquid scintillation age counting. *Proceedings of the Sixth International Conference, Radiocarbon and Tritium Dating*, Washinton, pp. 68-92.
- Pearson, G. W. and Stuiver, M. (1993) High-precision bidecadal calibration of the radiocarbon time scale, 500-2500BC. *Radiocarbon*, **35**(1): 25-33.
- Stuiver, M. and Becker, B. (1993) High-precision decadal calibration of the radiocarbon time scale, AD1950-6000BC. *Radiocarbon*, **35**(1): 35-65.
- Stuiver, M. and Pearson, G. W. (1993) High-precision bidecadal calibration of the radiocarbon time scale, AD1950-500BC and 2500-6000BC. *Radiocarbon*, **35**(1): 1-23
- 富樫茂子・松本英二(1983)ベンゼン-液体シンチレーションによる¹⁴C年代測定法 地質調査所月報, **34**: 513-527.
- 富樫茂子・松本英二(1988)液体シンチレーションによる4-5万年の¹⁴C年代測定地質調査所月報, **39**: 525-535.
- Valastro, S. Jr., Land, L. S. and Varela, A. G. (1977) An improved procedure for wet oxidation of the ¹⁴C NBS oxalic acid standard. *Radiocarbon*, **19**: 375-382.
- Wallac (1984) Teflon/copper vial cleaning procedures. *Quantulus Liquid Scintillation Counter 1220 Instrument Manual*.

SHIMANE UNIV. RACCLE 汽水域研究センター活動報告

活動日誌

1994年(平成6年)

3月29日 人工衛星を利用した汽水域環境監視システム設置祝賀会。

5月31日 島根大学汽水域研究センター特別報告第1号『マッドランプ—中海、飯梨川河口—』発行。



6月3日 第7回汽水域研究懇談会

竹広文明助手が『中海・宍道湖形成期の生業活動—鹿島町佐太講武貝塚の発掘調査—』について話題提供。参加者16名(内学外者2名)。



写真1. 第7回懇談会で話題提供する竹広文明助手(1994年6月13日)。

6月8日 第1回汽水域の考古学と自然科学ゼミナール

出雲市教育委員会・川上 稔氏、島根県教育委員会・西尾克己氏、島根大学理学部大学院生・中村唯史氏が『出雲平野—歴史と自然—』について話題提供。参加者16名(内学外者10名)。

7月18日 第8回汽水域研究懇談会

島根大学農学部教授・平塚貴彦氏、同農学部教授・北川 泉氏、徳岡隆夫センター長が『本庄工区

を考える—汽水域の環境保全と望ましい近未来の土地利用—』について話題提供。参加者37名(内学外者10名)。(NEWSLETTER 第4号に記事)

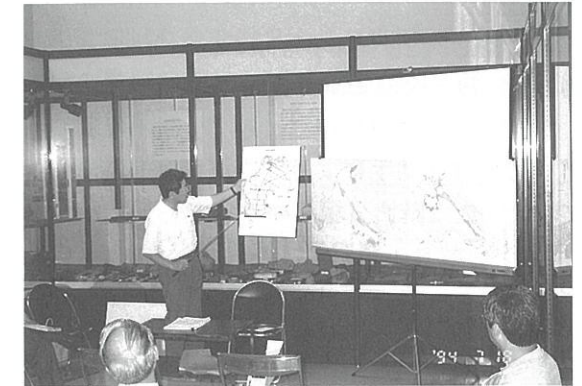


写真2. 第8回懇談会で話題提供する徳岡隆夫センター長(1994年7月18日)。

8月11日, 12日 公開講座『楽しい水辺教室—神西湖の自然—』を実施。小学校高学年, 中学生を対象として、地元漁業共同組合の応援を得て船上での実習も織り混ぜた講座となり、高安克己教授、井秀伸助教授など、6名のセンター教官・研究員・客員研究員が担当した。23名が受講。(NEWSLETTER 第4号に記事)



写真3.4 公開講座『楽しい水辺教室—神西湖の自然—』で学習する子供たち(1994年8月11日, 12日)。

10月20日 第9回汽水域研究懇談会

島根大学法文学部教授・富野暉一郎氏が『地方行政と環境問題』について話題提供参加者20名(内学外者3名)。

10月 NEWSLETTER 第4号発行。

11月19日～23日 公開講座『佐陀川—むかしむかし—』を実施。高安克己教授による「佐陀川ウォッチング」、竹広文明助手による「中海・宍道湖沿岸の縄文時代—佐太講武貝塚をめぐって—」など、5名のセンター教官・研究員・客員研究員が講演した。40名が受講。



写真5. 公開講座『佐陀川—むかしむかし—』で開講の挨拶をする徳岡隆夫センター長(1994年11月19日)。

11月30日 北東アジアシリーズ '94『古代北東アジアの文化交流』に参加。(於:島根県民会館)

1995年(平成7年)

1月11日 第2回山陰地域研究・汽水域研究発表会 延べ43名参加のもとで20題の研究が発表された。夕刻より第10回汽水域研究懇談会。

島根大学名誉教授・伊達善夫氏、同農学部教授・森 忠洋氏、同法文学部教授・藤岡光夫氏、同理学部講師・三瓶良和氏、徳岡隆夫センター長が『続・本庄工区を考える—宍道湖・中海水質予測中間報告書を読む—』について話題提供参加者32名(内学外者14名)。

2月4日 鳥取大学・島根大学合同シンポジウム「山陰地方の現状と課題—沿岸湖沼の自然と活用湖山池の場合—」を 鳥取大学地域共同研究センターとともに島根大学汽水域研究センターが主催。参加者150名(一般市民を含む)。(於:鳥取県民文化会館)

2月15日 島根大学埋蔵文化財調査研究センター研

究発表会「山陰汽水域の低湿地遺跡をめぐって—島根大学構内遺跡の発掘調査成果を中心として—」を汽水域研究センターが協賛



写真6. 第10回懇談会で話題提供する藤岡光夫・島根大学法文学部教授(1995年1月11日)。



写真7. 第10回懇談会での意見交換(1995年1月11日)。



写真8. 島根大学・鳥取大学合同シンポジウムでのパネルディスカッション(1995年2月4日)。

文部省科学研究費の交付

平成5年度科学研究費補助金

一般研究(B)「水辺の景観と水質浄化機能および生物多様性の因果関係の解明」(研究代表者:國井秀伸)
試験研究(B)「汽水域の塩水楔およびヘドロ層の音波探査法の開発」(研究代表者:徳岡隆夫)

平成6年度科学研究費補助金

一般研究(B)「水辺の景観と水質浄化機能および生物多様性の因果関係の解明」(継続,研究代表者:國井秀伸)
奨励研究(A)「石器時代におけるサヌカイト原材獲得方法の研究」(研究代表者:竹広文明)
試験研究(B)「音響トモグラフィーを利用した汽水域塩分躍層の動態観測システムの開発」(研究代表者:徳岡隆夫)

地方公共団体、民間企業との共同研究

1992年(平成4年度)

島根県「斐伊川放水路関連漁場環境現況調査」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,國井秀伸)

島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己)

1993年(平成5年度)

島根県古代文化センター「風土記調査」(研究担当者:高安克己)

島根県教育委員会「斐伊川放水路予定地内埋蔵文化財調査に伴う調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)

島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)

島根県「斐伊川放水路関連漁場環境現況調査」(継続,研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,國井秀伸)

島根県水産試験場「飯梨川・山佐川(広瀬町)現況調査」(研究担当者:國井秀伸)

島根県鹿島町教育委員会「鹿島町国史跡佐太講武貝塚の発掘調査および出土資料の研究」(研究担当者:竹広文明)

1994年(平成6年度)

総合科学(株)「沿岸低地古環境変遷に関する年代学的研究」(研究担当者:高安克己)

島根県教育委員会「朝酌川改修に伴う発掘調査ほか島根県内遺跡発掘調査の調査指導」(研究担当者:徳岡隆夫,高安克己,竹広文明)

島根県古代文化センター「風土記調査」(継続,研究担当者:高安克己)

通商産業省工業技術院地質調査所「富栄養化湖沼における食物連鎖を利用した水質浄化技術に関する研究」(研究担当者:國井秀伸)

松江市「松江堀川の水質等自然環境変化と生態系の動向」(研究代表者:國井秀伸)

島根県鹿島町教育委員会「鹿島町国史跡佐太講武貝塚出土資料の研究」(研究担当者:竹広文明)